



〈かすりの里 南風原〉
経済大臣指定 伝統工芸品

Ryukyu Kasuri (splash pattern)

大交易時代に琉球(沖縄県)に入ってきた絣織りの技術。
長い歴史を経て、今その伝統は南風原町に着実に受け継がれている。



かすり会館(2階は町民のためのかすり教室)



琉球絣事業協同組合 理事長 大城一夫
「琉球かすりの素晴らしさを県内外の方々に幅広く知ってもらい、愛し続けてほしいと願う」と語る大城理事長さん。琉球かすりの伝統を守り、普及のために熱い情熱を燃やしつつあります。

ひと糸、ひと織、丹念な手仕事の美 琉球の技と心が、南風に乗って…



琉球かすりの歴史

遠くインドに源を発し、東南アジア各地に広がった絣が、琉球王府時代の大交易時代の波に乗って、沖縄に入ったのが14世紀~15世紀ごろ。それ以後、中国・日本や東南アジアの影響を受けながらも、琉球の気候・風土にマッチした独自の絣が沖縄各地でつくられ、その絣が、海を越え、薩摩絣、久留米絣、米沢琉球絣、伊予絣など日本の絣のルーツとなりました。

History of Ryukyu Kasuri

With roots in India, splashed patterns spread throughout the whole of Southeast Asia to land in Okinawa between the 14th and 15th Centuries, at the time of the Great Age of Trade of the Ryukyu Kingdom. From there, while being influenced by China, Japan and Southeast Asia, and matching the Ryukyu Islands' climate and natural features, unique splash pattern textiles were produced throughout Okinawa. These patterns once again crossed the sea to become the roots of Japan's splashed patterns such as in Satsuma Kasuri, Kurome Kasuri, Yonezawa-Ryukyu Kasuri and Iyo Kasuri.

琉球かすりの特徴と技法

琉球かすりの大きな特徴は、およそ600種という多彩な図柄。これら爽やかな涼感をさそう幾何学模様の図柄は、琉球王府時代から伝わる「御絵図帳」をもとに、職人たちが現代の感覚を取り入れて、オリジナルをつくりあげます。

この図柄をもとに、糸を染め上げる時、少しずつ束ねた糸を計算された間隔で、模様部分を1カ所ずつ手括りでしめあげていくという大変手間のかかる方法で、独自の絣模様をつくります。

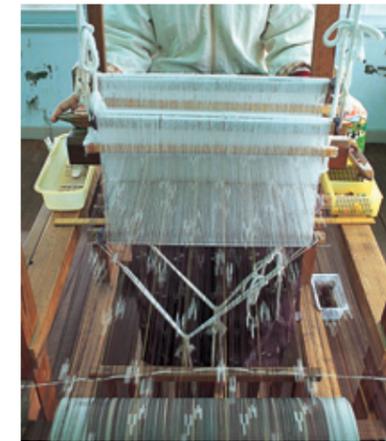
織りは、緯糸を経糸の間に投げ込んで織っていく昔ながらの技法で、1日せいぜい2mぐらいずつ丹念に織りあげていきます。

Characteristics and techniques of Ryukyu Kasuri

The major characteristic of Ryukyu Kasuri is the approximately 600 types of multi-colored patterns. Geometric pattern designs reflecting fresh and cool feelings have been transmitted since the Ryukyu Royal Administration period according to a "Miezu-cho" - a design book, artisans incorporating contemporary senses to create originals fabrics.

With those designs as backbone, before dyeing the whole threads, each design part is hand tied one-by-one at calculated intervals on threads that are little by little tied up in bundles. This method requires a great deal of time, yet allows for the creation of unique Kasuri designs.

The fabric, woven by throwing weft threads in between warp threads, is made by utilizing an old technique, enabling one to at best meticulously weave approximately 2 meters of fabric per day.



かすりが出来るまで Process of manufacturing Kasuri



① 種糸とり
Design and Planning
御絵図帳や他の絣図案を参考に独自の絣図案を作成する。



② 整経
Winding
経糸と地糸を割り出しそれぞれ適切な長さに整経する。種糸を1本に長く伸ばして整経台に張り種糸に合わせて経糸を整経する。



③ 緋くくり
Reeing yarns onto bobbins, winding
あらかじめ種糸を作り、それに従って手で緋括りを行う。



④ 染色
Dyeing
琉球藍、福木、グール、チカチ等の植物染料を用い多彩な色を染色する。



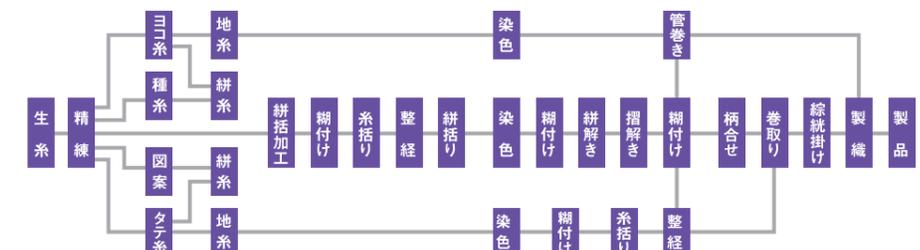
⑤ 綜絨掛け
Making string heddles
巻き終えた経糸を左側から順序よくすくい、割竹を使って綜絨掛けを行う。



⑥ 製織
Weaving
木製高機により手投げ括りを用い、絣柄を合わせながら織る。



⑦ 製品検査
Inspection
織り上げられた琉球絣は、製品検査場で、全製品、長さ、幅、量目、織り、地合、染料等について、ベテランの検査員によって厳格な検査を受けます。



1番もの Specialty Products

わったまのまちの

上等



南風原には沖縄No.1、日本No.1がいっぱい



かぼちゃ 生産 沖縄一

おいしくて栄養素もたっぷり
南風原かぼちゃは本土で好評です。

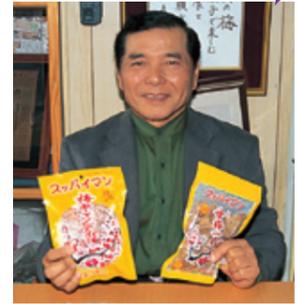
南風原町は「かぼちゃの里」として知られ、県内生産の約50%を占め、沖縄一を誇っています。南風原かぼちゃ（銘柄：えびす）の特徴は、太陽をいっぱい浴びた完熟かぼちゃで、栄養素に富み、味がいいこと。そのため、本土市場で好評で、生産高の90%を本土出荷しています。出荷は国内産が品薄になる3月下旬から5月中旬まで続き、高値で取り引きされています。



スッパイマン

人気菓子

沖縄代表駄菓子No.1



今、沖縄発で全国的に爆発的に売られているお菓子。それがスッパイマンです。スッパイマンシリーズには4種類の乾燥梅干しと梅キャンディー、黒糖梅キャンディーがあります。これらの商品がブームになったのは、長年にわたる全国見本市、物産展フェア御が下火となり、キャラクターの「スッパイマン」で火がつけました。今では県外出荷が7割になっています。「商品を守るには攻めしかない」と上間社長は自信をもって語りました。TOWN MAP 23p



王府 伝来

南風原花織

可憐な模様は花のように美しく

南風原には緋の他に花織の技法も、明治の頃から母から娘へと伝承されてきました。その後大正時代には喜屋武八織、照屋花織など独自の花織、浮織の技法を確立しました。

南風原花織の特徴は、染色に県内の琉球藍、福木、テカチ等の植物染料を用いることです。また、ヤシラミ織、クワンクワン織、タッチリーなど、産地にしか存在しない名称があり、その模様は花のように美しく図柄に立体感がでて華やかな印象を受けます。

伝来 日本初



ひと糸、ひと織、丹念な手仕事の美



南風原町は昭和52年に日本全国へ「琉球緋の里」を宣言した緋の産地で、町内の本部、喜屋武、照屋の3カ字を中心に生産されています。昭和55年には「琉球かすり会館」が建設され、原料糸、染料、織物機材の共同購入、共同販売、後継者育成、技術研修などの事業を行っています。ひと糸、ひと織、丹念に織られた緋の他、緋を使ったバック、袋物、ネクタイや最近ばかりゆしウェアも好評です。



生産高 日本一

ナーベラー

沖縄を代表する夏野菜
本土出荷も始めています。

ゴーヤー（ニガウリ）と並ぶ沖縄の代表的夏野菜、ナーベラー（ヘチマ）。その県内生産の約30%は南風原産で沖縄一です。ということは、本土ではヘチマを食用にしないので、南風原町は食用ヘチマ生産日本一ということになります。本土ではまだタワシとしてのイメージが強いヘチマですが、ゴーヤーが本土でも知られるようになったように、本土出荷も徐々に動き始めています。



生産高 日本一

「輝かしい未来」を予感させる花です。

南風原は年間約2万本のストレリチアを生産し、その約95%を本土出荷している日本一の町です。ストレリチアは和名の極楽鳥花のとおり、本土では織起用、正月用として人気が高まっています。南風原町ではストレリチアの茎の繊維を使った和紙づくりも始まっています。鮮やかな花とは対象的な落ちついた風あいの名刺、葉書、賞状用紙などが生まれています。ストレリチアの花言葉「輝かしい未来」を予感させる花です。

極楽鳥花



南風原町の 特産品 Specialty Products



注目菓子

津嘉山ろーる【デュウオ】 南風原町の特産品かぼちゃのケーキです。

南風原特産のかぼちゃを使ったロールケーキ、それがケーキの店・デュウオの「津嘉山ろーる」です。生地の中にかぼちゃを練り込みあざやかな黄色が食欲をそそる、フワとしたケーキです。食べた後、かすかにかぼちゃの風味が残り、お客様に好評です。デュウオでは、この他、かぼちゃを使ったシフォン、クッキー、プッセをつくっています。

☎ 098-888-3678 TOWN MAP 23p



伝統菓子

黒糖【金清黒糖】 昔ながらの手伝いの味わい

25年前に創業以来、手作りの味わいのする黒糖をつくり続けています。材料の黒糖は西表、波照間、多良間から仕入れてます。今では15種類の黒糖や黒糖加工品をつくっています。その中でもしょうが糖やピーナツ糖、特産フチ黒糖などは、昔風の手作りながら、現代の味覚にもマッチしています。

☎ 098-889-3503 TOWN MAP 23p



匠の技

沖縄三線

三線チーガ【桃原チーガ製作所】 沖縄県で唯一の製作所。響きが違います。

三線は主に竿と皮それぞれに「チーガ」と呼ばれる部分から成り立っています。南風原町には沖縄でただ一人「チーガ」を専門に手づくりしている桃原米仁さんがいます。三線は竿や皮の種類によって、チーガの材質、大きさ、形が様々に変化します。桃原さんは、それらの条件に合った最高のチーガを手づくりしています。

☎ 098-889-4694 TOWN MAP 23p



健康飲料

もろみ酢【瑞泉酒造南風原工場】 全国的ブームの健康飲料もろみ酢を製造

泡盛の老舗・瑞泉酒造の「もろみ酢」製造専門の工場で、2002年8月にオープンしたばかりです。瑞泉のもろみ酢は、泡盛を蒸留した後のもろみを濾過し、砂糖などの添加物を一切加えずに仕上げたものです。アミノ酸とクエン酸がたっぷり含まれており、健康飲料として全国的にブームになっています。

☎ 098-889-2125 TOWN MAP 24p



伝統菓子

【まるひら製菓】
TOWN MAP 24p
創業昭和24年の老舗で、主にたんなんふあくるーとちんすこうを製造販売しています。たんなんふあくるーは伝統の味を生かして現代の味に合うように焼きあげています。銘菓ちんすこうには6種類のフレーバーがあり、どれも南国沖縄を代表する味に仕上げられています。
☎ 098-888-913256

The Preserved Traditional Arts of Haebaru Town

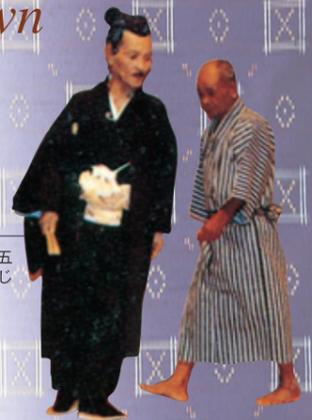
南風原町の

伝統 芸能

南風原町には獅子舞や舞方棒のような一種のはらい(災厄を払う)芸能や八月十五夜の村あそびの中で伝承されてきた数々の芸能が残っています。どれも、先祖のころを今に伝える貴重な財産です。

無形民俗文化財 字宮城の狂言「銭借人」

およそ130年前の「大遊び」以後には「十五夜遊び」の中で伝承され、戦後もよく演じられた数種の狂言のうちのひとつです。
Miyagusuku Village Traditional Comedy: Jinkayaa (The Money Borrower)



無形民俗文化財 字喜屋武の「長者の大主」

八月十五夜の祭りなどで演じられる祝賀芸能で、福祿寿の三徳を兼ねた「長者」が五穀豊穡と村の繁栄を祈願し、子孫たちの芸能を披露して神をもてなすものです。
Kyan Village "Choja nu Ufushuu" Drama (The Village Patriarch)



無形民俗文化財 字宮平の女踊り「総掛」

古典女踊りの伝統的な型を保持している宮平の「総掛」は、女踊りの「総掛」の歴史的な研究の上からも大変貴重です。
Miyahira Village "Women's Dance": Kashikaki (Thread Winding)



無形民俗文化財 舞方棒

舞方棒は災厄や悪霊を払いのける意味をもつ芸能化した踊り(棒)です。南風原には宮城、兼城、喜屋武、照屋、津嘉山、神里で演じられています。
【宮城・兼城・喜屋武・照屋・津嘉山・神里】
Meekataboo Traditional Dance Routine



無形民俗文化財 字兼城の二才踊り「揚作田」

二人打組みの代表的な二才踊りで、「御冠船踊」として、先祖代々から八月十五夜の村遊びにおいて伝えられてきたものです。
Kanagusuku Village "Young Men's Dance": Agichikuten



無形民俗文化財 獅子舞

沖縄に古くから伝わる一種のはらい(災厄を払う)芸能。南風原には宮平、喜屋武、本部に伝わり、それぞれ違った特徴を持っています。
Lion Dance

南風原町の 心象

Cultural Assets of Haeburu Town



史跡 大名ヒージャーガーと石碑 [大名]

首里に向かう旧街道路脇にある共同井戸。碑文によると、この道路は雨天時に往来で渋滞するので1769年にこれを改修し、樋川を築かせたそうです。
Oona Village Hijagaa and Commemoration Stone

南風原町には豊富な伝統文化と歴史が今なお息づいています。南風原町には歴史的に価値の高い、かけがえない共有財産である有形文化財、史跡、天然記念物が数多く残されています。町ではこれらを大切に守り育て、文化の香り高いまちづくりを進めています。

Haeburu Town has a rich tradition and cultural history that is still alive today.

Haeburu Town has high historical value with tangible cultural properties that are irreplaceable, historic sites, and many natural monuments preserved. The town is working on preserving these treasures to promote Haeburu as a municipality of high cultural sense.



本部の石獅子

有形文化財 石獅子 [兼城・本部・照屋A・照屋B]

石獅子は恐れの対象へのケージ(返し)、つまり魔除けと伝えられ、村境などに置かれます。南風原には兼城に1基、本部に1基、照屋に2基の計4基が残っています。

Stone Lion



照屋の石獅子B



兼城の石獅子



照屋の石獅子A

有形文化財 宇平橋碑 <南風原文化センター>

琉球王朝時代の王府が建てた石碑としては5番目に古いもの。沖縄戦でも割れずに完全な形で残っているものでは最古の碑です。

Uhei Bridge Commemoration Stone



県指定文化財 マフニ 摩文仁家の墓 [大名]

尚質王の第二子尚弘篤毅(摩文仁家の祖)の墓として、17世紀に造られました。墓室入口が広く、天井を木造の手法を用いて平天井にしており、この形式の墓は県内でも他にありません。

The Mabuni Grave



史跡 南風原陸軍病院壕 (第1外科壕群・第2外科壕群)

第32軍直属の病院壕で、正式には沖縄陸軍病院ですが、南風原にあった関係上こう呼ばれています。1990年戦争の悲惨さを伝える証として、南風原町の文化財に指定されました。

Haeburu Underground Army Hospital Caves



天然記念物 ナカモークワ 中毛小のガジュマル群 [喜屋武]

字喜屋武の中毛小には5本のガジュマルの大き木が並んで生育し、そのうち3本が四方に枝を広げています。

Nakamoogwaa Gajumaru Grove



史跡 ウスクガ 御宿井 [宮城]

御宿井は「羽衣伝説」の残る井戸で、周辺からはフェンサ上層式土器や須恵器、青磁片などグスク時代の出土品も出た歴史的に価値の高い文化財です。

Usukugaa

天然記念物 南風原間切番所跡のフクギ群 [宮平]

1611年頃、尚寧王が各間切に番所を設置。南風原間切番所もその時に設置されました。現在、番所跡に道路に沿って7本のフクギが残っています。

Fukugi Grove at the Haeburu District Royal Government Office Ruins



有形文化財 修宮城橋碑 [宮城]

町内に現存する石碑として、かつて交通の要路として重要視された南風原を裏付ける貴重な文化財です。

Syuu Miyagusuku Bridge Commemoration Stone



有形文化財 印部土手石 [兼城]

首里王府の時代から明治にかけて、田畑を測量する基準点として設定された石で、南風原町からは4個発見されています。

Shirubi Field Boundary



南風原の文化財

文化財要覧第3集

町指定の文化財を網羅した冊誌

B5版、54頁、500円

問い合わせ/南風原文化センター

098 (889) 7399

We lost 3,345 people of Haeburu in the Battle of Okinawa.



今でも南風原には生活の中に戦争の爪跡が残っている。通りがかった仲良し3人組のおばあちゃん。弾痕の跡の話を聞くと「これはネエ」と、顔を曇らせた。

南風原町の

沖縄戦

南風原町は沖縄戦で
3,345 人の尊い命を失いました。

沖縄戦における南風原

南風原は戦前から首里・那覇と島尻を結ぶ交通のかなめでした。そのため軍事的にも重要視され、前線に対する「後方」として位置づけられました。具体的には、武器や食糧の補給部隊や輸送部隊、負傷兵の治療を行う病院部隊がおかれました。特に、高津嘉山の第32軍司令部経理部は、首里城地下にあった第32軍司令部と連携する重要な部隊でした。このように南風原には、全域にさまざまな役割を持った後方部隊が配備されました。それに伴い、壕掘りや食糧の提供、弾薬運搬、炊事などに協力させられ、戦闘にまぎこまれました住民も少なくありません。

首里の司令部が陥落する5月下旬には、前線の部隊が南風原に殺到し、海、空、陸からの攻撃が集中します。さらに南風原の十字路や橋を通過して、多数の住民や兵隊が南部へと避難していきました。交通のかなめであったことが、南風原の犠牲を大きなものにしたのです。

Haeburu within the Battle of Okinawa

Since prior to World War II, Haeburu was the traffic pivot linking Shuri, Naha and the Shimajiri districts. This explains that it was regarded as an important location in military terms, and was built as the backbone of the front line. There were specifically located weapons and food supplies units as well as transportation units. Haeburu was also site of a military hospital, in charge of treating injured soldiers. In particular, the 32nd Army Accounting Section in Takatsukazan was an important section that cooperated with the 32nd Army headquarters based in the undergrounds of Shuri Castle. With many background units being stationed all around the Haeburu region, locals were forced to help with trench digging, food supplying, ammunition carrying and other kitchen work, explaining that many local residents were dragged into battles.

With the Shuri headquarters falling by the end of May 1945, Japanese front line troops evacuated to Haeburu, which brought air, sea and land offensives to concentrate on the region. Furthermore, many Okinawans and soldiers running south for refuge passed through Haeburu's crossroads and bridges. As a vital traffic point, Haeburu and its people were important victims of the war.

沖縄戦の証言 ① 〈ひめゆり学徒隊〉

直撃された14号壕

与那覇百子 (旧:上地百子) 当時17歳
師範予科3年 第一外科勤務

「ドカーン」と物凄い音でした。「随分大きな爆弾だったね。今のはどこだったかな」と患者達が言うんですね。私もビックリしましたので「ほんとに今のは大きかったですね」と返事したものの、何だか気になって自分の14号に急いでもどったんですよ。そしたらもう大変。壕の入口が無くなっているんですよ。今しがた出て来たばかりなのに胸騒ぎを押さえながら探していたら、やっと、崩れた穴が見つかったんですよ。

中に入りましたら、なんと上地貞子さんと看護婦達が、壕の壁にベタッと、貼り付いたままになっているんです。奥に入ってまたビックリしました。本当に地獄絵でも見ているようで恐ろしい光景です。

「よくなった。もうじき部隊に帰れるぞ」と喜んでいた兵隊達が皆ベタッとなぎ倒されているんですよ。手足は千切れ、頭も吹き飛んでいるんです。

貞子さんは脳みそが飛び出しているし、看護婦も腸が全部飛び出しているのです。寝台にいた患者達も手足や頭が吹っ飛んで、そこら中いっばいに肉の塊が散らばっているのです。

全滅状態でした。私はただ恐ろしく、いたたまれなくなって壕を飛び出し逃げました。

〈ひめゆり平和記念資料館:公式ガイドブックより〉



壕内で使用された医療器具や薬品
〈南風原文化センター内展示〉



一召集兵が体で知った戦場面集より
執筆者:久保直人 [第32軍兵器勤務隊の壕内の様子]

沖縄戦の証言 ② 野原カメさん (当時37歳)

愛児が盾に 〈砲弾で穴のあいた着物〉

南風原町に住む野原カメさんは、沖縄戦のさなか、自宅近くの避難していた壕を日本軍に追い出されました。カメさんは長男の広正ちゃん(5つ)を背負い、ねんねこ代わりにこの着物を羽織って、激しい砲弾を南部へ向けて逃げました。サトウキビ畑のあぜ道にさしかかったとき、「耳元でカーンという音がしたかと思うと、広正がワッーと泣き出して…」見ると砲弾が着物を突き破り、広正ちゃんのふくらはぎに深く突き刺さり、抜けません。「せめて貫通して私の体に突き刺さってれば」火がついたように泣きながら「水水…。ごはん、ごはん…」とせがむ広正ちゃん。3日目、具志頭で薬をもった衛生兵に出会い、子どものために薬を譲ってもらえるように頼みましたが、その衛生兵はすがりつくカメさんを「おまえたち民間人にやる薬はない」と突き飛ばしました。カメさんがしりもちをついたため、広正ちゃんも傷口を地面に打ちつけました。2日後、本島南部の糸満で広正ちゃんは口も開かない状態で、破傷風のため息を引き取りました。



〈南風原文化センター内展示〉

戦争に関する書籍 Publications on WWII and Haeburu

●各々が語る沖縄戦/南風原町は、1983(昭和58)年から1996(平成8)年まで、13年がかりで全12カ所の戦災調査を行いました。

※Data中、当時の人口・戦死者は、県外・国外にいた方々は含んでいません。

<p>南風原が語る沖縄戦 ■A4版 104頁 ■1,000円</p> <p>南風原における沖縄戦の概要をダイジェスト版としてまとめました。写真や図表を多く使用しています。</p>	<p>南風原陸軍病院壕群I ■A4版 100頁 ■1,000円</p> <p>琉球大学考古学研究室の協力で、1994年から1998年に実施された南風原陸軍病院壕群の考古学的調査報告書です。</p>	<p>南風原の学童疎開 ■B5版 90頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>南風原から200名余の児童が熊本と宮崎へ疎開しました。親兄弟と離れ、異郷の地で飢えと寒さに耐えながら勉学に励んだ方々の聞き取り調査をまとめた。</p>	<p>南風原陸軍病院 ■B5版 70頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>南風原町は国内で初めて戦跡(南風原陸軍病院壕)を町文化財として指定(平成2年)しました。証言等を紹介しています。</p>	<p>神里が語る沖縄戦 ■B5版 94頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 694人 戦死者 295人 戦死率 42.6%</p>	<p>山川が語る沖縄戦 ■B5版 78頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 645人 戦死者 252人 戦死率 39.1%</p>	<p>津嘉山が語る沖縄戦 ■B5版 114頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>Data 当時の人口 1,949人 戦死者 808人 戦死率 41.5%</p>	<p>照屋が語る沖縄戦 ■B5版 88頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 582人 戦死者 235人 戦死率 40.4%</p>	<p>喜屋武が語る沖縄戦 ■B5版 84頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>Data 当時の人口 856人 戦死者 350人 戦死率 41%</p>	<p>本部が語る沖縄戦 ■B5版 74頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 455人 戦死者 226人 戦死率 49.7%</p>	<p>兼城が語る沖縄戦 ■B5版 94頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>Data 当時の人口 468人 戦死者 176人 戦死率 37.6%</p>	<p>宮平が語る沖縄戦 ■B5版 98頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>Data 当時の人口 513人 戦死者 213人 戦死率 41.5%</p>	<p>新川が語る沖縄戦 ■B5版 66頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 430人 戦死者 218人 戦死率 50.7%</p>	<p>大名が語る沖縄戦 ■B5版 48頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 268人 戦死者 124人 戦死率 46.3%</p>	<p>宮城が語る沖縄戦 ■B5版 80頁 ■在庫なし(閲覧可)</p> <p>Data 当時の人口 735人 戦死者 311人 戦死率 42.3%</p>	<p>与那覇が語る沖縄戦 ■B5版 76頁 ■500円</p> <p>Data 当時の人口 425人 戦死者 137人 戦死率 32.2%</p>
---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	---	---	--	--	---	---

※書籍に関するお問い合わせは、南風原文化センター(098-889-7399)まで。

南風原町の戦跡

Old Battlefield

南風原町には多くの戦跡が今も残っています。

④ 沖縄陸軍病院

第32軍直属の病院部隊(球18803)の壕で、黄金森一帯に30近く掘られました。軍医・看護婦・衛生兵など450人、ひめゆり学徒隊239人が配置され、数千人もの傷病兵の治療・看護に当たりました。壕の中は、手足のない患者、あごのない患者、火炎放射器で焼かれた患者など、凄惨な姿の負傷兵であふれ、うめき声と悪臭が充満しました。病院が南部へ撤退する際、歩けない重傷患者には青酸カリが配られ、自決が強要されました。1990年、戦争の悲惨さを伝える証として、南風原町の文化財に指定しました。戦跡を文化財に指定したのは、全国で初めてのことでした。



上空から見た沖縄陸軍病院壕(黄金森) ※現在、位置が確認できた壕のみ



③ 字山川の水タンク直撃される

水タンクは青年たちのたまり場でした。ある日、上空を偵察機がグルグルまわっていました。まもなくグラマンが飛んできてロケット砲を发射しました。砲弾は水タンクに命中。グラマンが去ったあと水タンクに行ってみると、中は血の海と化し、うめき声が続いていました。

(山川が語る沖縄戦より)



① ナゲラ壕(第62師団野戦病院壕)

全長300m近くある人工の野戦病院壕。軍医・薬剤師校・衛生兵・看護婦277名のほか、首里高等学校、昭和高等女学校の女生徒も看護隊として動員され、戦闘による負傷兵の治療・看護に当たりました。1945(昭和20)年5月下旬、南部へ撤退しました。



⑧ 第32軍司令部経理部

沖縄守備軍は1944(昭和19)年夏から高津嘉山とチカンモーに巨大な壕を構築しました。軍司令部にする予定でしたが、作戦の変更で経理部や軍医部などが置かれました。1945(昭和20)年5月末には首里から摩文仁へ撤退する牛島司令官も使用しています。



⑨ 津嘉山の石垣のへいに残る弾痕。



⑥ 字兼城の慰霊塔



Haeburu Town

② 死の十字路・死の橋

住民や兵隊の南部避難コースには、米軍が照準を合わせ中城湾や那覇沖の艦隊から砲弾を撃ち込みました。そのため、兼城十字路や照屋十字路、宇平橋、一日橋は無数の死体であふれ、「死の十字路」「死の橋」と呼ばれました。

⑤ 折和の塔

戦前、折和の塔は戦死した兵士をまつる忠魂碑でした。日露・日中戦争による戦死者の、天皇への忠節・忠義をたたえ、村をあげて「忠魂祭」を行いました。戦後、南風原で野ざらしになっていた遺骨は忠魂碑に集められ、のちに火葬され、兼城の納骨堂に納められました。1966年、現在の「慰霊折和の塔」が建立され、毎年「慰霊祭」が行われています。



なるほど納得! はえばる豆知識

Did you know?

南風原町に鉄道があったの知ってた?



はえばるにも鉄道が…。 軽便鉄道

戦前の沖縄県には鉄道がありました。県が経営する沖縄県営鉄道で、1914(大正3)年から1945(昭和20)年まで汽車が走っていました。他府県の鉄道より規模が小さな軽便鉄道といわれるもので、庶民からは親しみを込めて「ケービン」と呼ばれていました。

まず、1914年に与那原線が開通しました。那覇—古波蔵—真玉橋—国場—一日橋—南風原—宮平—大里—与那原の延長9.76kmの鉄道です。続いて1922(大正11)年には延長22.45kmの嘉手納線が開通しました。

さらに1923(大正12)年には糸満線が開通しました。那覇—古波蔵—国場—津嘉山—山川—喜屋武—稲嶺—屋宜原—東風平—世那城—高嶺—兼城—糸満の駅を通る延長15.1kmの鉄道です。南風原は3つの路線のうち2つの路線が通り、合計22カ所の駅の内5カ所も駅がありました。それだけ当時から南風原が南部の交通の要衝だったことがわかります。

田園風景の中を「ケービン」が走るのどかな風景も、1945年の沖縄戦で鉄道が破壊され、消えてしまいました。

軽便鉄道南風原町内路線図



Light Railway

Before World War II, there was a railway in Okinawa Prefecture. Operated by the prefecture, the Okinawa Prefectural Railroad had a train in operation from 1914 up to 1945. Compared to other prefectures' railroads, it was a light railway of small scale that was familiarly surnamed by local folks "Kebin."

The first line was the Yonabaru line opened in 1914, running from Naha, Kohagura, Madanbashi, Kokuba, Ichi-nichi-bashi, Haeburu, Miyahira, Osato and Yonabaru. The line was 9.76 km long. Following in 1922, the 22.45 km long Kadena line was opened to traffic.

Furthermore, in 1923, the 15.1 km long Itoman rail line was established with stops at the stations of Naha, Kohagura, Kokuba, Tsukazan, Yamagawa, Kyan, Inamine, Yagibaru, Kochinda, Yonashiro, Takamine, Kanegusuku and Itoman. Haeburu was connected to two of the three routes, with 6 of the 22 stations located in the municipality, explaining that Haeburu was an important traffic related location in southern Okinawa. In 1945, the serene scenery that saw "Kebin" running through our garden city was destroyed during the Battle of Okinawa.

遠く離れていても…。

移民出稼ぎ先との交流

南風原からは戦前、ハワイをはじめ、アメリカ本土、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、フィリピン、旧南洋群島、旧満州(中国東北部)などの地域へ移民しています。関西地方、特に大阪への出稼ぎも多く、戦後少数ですがボリビア、カナダへも移民しています。日本の植民地であったフィリピン、旧南洋群島、旧満州への移民は敗戦によって引き揚げましたが、その他の地域とは今も交流が続いています。ハワイでは町人会の家庭に中高生がホームステイを行い(南風原町青少年国際交流)、大阪では町人会と小学生との交流会を開きました(南風原町子ども平和学習交流事業)。そして毎年、南米から2世3世の若者が日本語研修にやってきます(南風原町海外移住者子弟研修受入事業)。



世界の南風原人・歓迎会2001年

また、「世界のウチナンチュ大会」が開催された2001年には、「ハイサイ!世界の南風原人」展や歓迎会を行って交流を深めました。ブラジルや大阪の町人会では、広報「はえばる」が届くと会員に配付し、丁寧に読んでいます。故郷への思いは強いのです。



Exchanges with Emigrants

Prior to World War II, many from Haeburu emigrated to Hawaii, the mainland United States of America, Brazil, Peru, Argentine, the Philippines, the former Japanese possessions in the South Pacific and former Manchuria (North East China). Many others went to work in the Kansai region, especially in Osaka. After the war, a small minority moved to Bolivia and Canada. While emigrants to the Japanese colonies that were the Philippines, former South Pacific Japanese possessions and former Manchuria were evacuated, exchanges with others regions are still ongoing. In Hawaii, townspeople association families welcome junior and senior high schools students for home stay programs (Haeburu Town Youth International Exchange). In Osaka, exchange activities were held between townspeople association and elementary schools (Haeburu Town Children Peace Learning Exchange Project). And each year, second and third-generation youth from South America make it to Haeburu to study Japanese (Haeburu Town Emigrant Descent Studying Program).

In addition, the "Haisai! Worldwide Haeburu People" exhibition and a welcoming reception were held to deepen our relations during the "World Wide Uchinanchu Festival" held in 2001. And as an informative, the town's brochure "Haeburu" is also sent to townspeople associations' members in Brazil and Osaka, keeping alive the link with the hometown.

南風原町の 先駆者

Pioneers of Haeburu Town

世界で初めて空を飛んだ人、
ウルトラマンの生みの親、海外で活躍した人たち…。
はえばるには、誇りにする人がいっぱいいます。

世界の
鳥人

世界で初めて大空を飛んだ男
飛び安里

「鳥のように自由に自由に大空を飛びたい」これは洋の東西を問わず、昔から人類が抱いた夢でした。その夢を約200年前に世界ではじめて実現させた人がいたのです。「飛び安里」といわれる人で、実験で津嘉山の仕立森(現津嘉山小学校)から津嘉山公民館(150×200m)まで飛んだといわれています。
ライト兄弟より実に116年も前のことです。

The first man ever to have flown
Both in the East and the West, flying free as a bird has always been man's dream. 200 years ago, a man known as "Tobi Asato" accomplished this for the first time in the district of Tsukazan. He is said to have flown from where the actual Tsukazan Elementary School stands to Tsukazan Public Hall, a distance covering some 150-200 meters. That was 116 years before the Wright brothers.



飛び安里記念碑

FLYING ASATO

どんな飛行機だったのか？

「飛び安里」の飛行機は、鳥の生態を調べ、弓の弾力を利用し、弓を水手に支柱に取り付け、弓上にトリの翼形の羽翼を張って、これを足で上下して飛行するものでした。初飛行のとき、調子よく舞い上がり、ぐんぐん上昇したため、妻に託していた命綱の余裕がなくなり、妻があわてて急激に綱をたぐったため、バランスを失い、急速に下降、自宅の台所付近に落ちたという話があります。

What type of plane did he use?

After studying birds, "Tobi Asato" built a plane using elastic arches, setting up stretching wings like those of birds on top of an arch, wings that were activated by flapping his feet up and down. It is said that for his first flight, he was able to fly high in the air, rapidly increasing his altitude. His wife, frightened by her husband's security rope length diminishing, suddenly pulled the rope and thus destabilized the plane. Losing his balance, Asato fell at high speed to finish his first flying experience, landing in the kitchen of his own house.



津嘉山の仕立森

資料集「飛び安里」

- B5版198頁
 - 500円
- 問/町立南風原文化センター
電話:098(889)7399



「飛び安里」はどんな人？

「飛び安里」という人物は安里周富(1748~1799)、周富(1765~1823)、周祥(1797~1867)の3人があげられていますが、周富が最も有力です。
安里周富は「ヒハナジ(火花師)安里」と呼ばれ代々首里天府に仕えた花火師でした。安里家は花火造りの名人と呼ばれ、王家の祝宴で「松竹梅」の文字が浮かび上がる見事な仕掛け花火を造ったそうです。



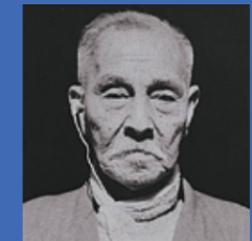
Who was "Tobi Asato"?

Three men are brought to mind when mentioning "Tobi Asato" or flyer Asato: Shuto Asato (1748-1799), Shuto Asato (1765-1823) and Shusho Asato (1797-1867), but most likely it refers to Shuto Asato (1748-1799). Asato was a pyrotechnician that served in Shuri. He was also a famous fireworks master who officiated in Shuri. During royal family banquets, it is said that he was able to create splendid fireworks allowing the three kanji for "Pine, Bamboo and Plum," symbols of happiness, to float in the air.

Many people are the pride of Haeburu : Tobi Asato, the first man to have ever flown, the father of Ultraman, and all the ones that are active overseas...

Pioneers

南風原町の誇る
先人たち



中国革命の闘士
新垣 弓太郎
Yumitaro Arakaki

明治5年南風原間切宮城村に生まれた「中国革命の闘士」弓太郎が活躍した舞台は、東京、上海という郷里を遠く離れた所であるため、沖縄ではほとんど知られていません。彼は、中国第一革命に失敗し日本亡命した孫文(のちの中国革命政府総統)を助け、中国へ渡り革命軍の指令官となりました。当時、「蒋介石」は決起盛んな青年将校で弓太郎と共に活躍しました。弓太郎はのちに孫文から「熱血可嘉」の扁額を贈られました。



第1回ブラジル移民
金城 山戸
Yamato Kinjo

明治26年南風原村津嘉山生まれ。1908年(明治41年)第1回ブラジル移民。当時14歳。一緒に移民した2歳年下の儀保蒲太とは無二の親友でした。
日本人初の歯科医師として活躍。彼は日系人だけでなく現地の人々からも敬愛される人格者でした。奇しくもブラジル移民80周年の前日、1988年6月17日に95歳でその生涯を閉じました。



第1回ブラジル移民
イッパチ(儀保蒲太)
Kamata Gibo

明治28年南風原村津嘉山に生まれたイッパチは、日系人で最初の歯科医師になった津嘉山出身の友人、金城山戸氏らと明治41年第一回移民としてブラジルへ移住しました。友人である山戸氏は医師へ、イッパチは賭博の道へ入り、花形賭博師として活躍し稼いだ金を困窮している沖縄県人に分け与えました。また日系人社会の福祉関係で篤志家としても知られています。
南風原町は「夢を賭けた」移民の町です。



ウルトラマンを創った男
金城 哲夫
Tetsuo Kinjo

ジラース、チブル星人などの沖縄方言を題材にした怪獣が登場したウルトラマンの生みの親の一人です。特撮の神様と言われる円谷英二のもとで、天才脚本家として活躍しました。沖縄日本復帰前に帰沖し琉球放送のキャスターや若手の役者と組んで、沖縄芝居の脚本や演出を手掛け、作家を志し活動し始めた矢先に、おじも37才の若さで急逝しました。彼は忘れてはならない南風原の人であり、日本の時代のヒーローを生み出した人なのです。



©1966円谷プロ

とんち Joke Stories 話

南風原町はむかしから
ひらめきのある人が多い町みたいです。
Since old times, Haebaru seems to be a town
giving birth to many geniuses!



Gambling (Fuka Taira)

In the Kaneshiro district, there was long ago a rice field of nearly 6600m² named Fuka Taira. Young villagers used to go there at night to gamble. "Let's stand a pole in the middle of this rice paddy and gamble on who will be able to lasso the stick with a rope without stepping into the rice field! Many observers complained that it was too hard to be realized. A man then stood up announcing "I can do it!" That was the beginning of the bet. A pole was centered in the field as the challenger brought a really long rope. With the rope's sliding noose in his hand, he walked around the field, and after completing his round started pulling the rope. The circle made by the rope started to get smaller to finally lasso the pole. That is how the man won the bet.

昔、兼城の部落に深タイラーという二千坪ぐらいの田んぼがあったそうです。
夜、村の青年たちが集まって賭けをしていました。「あの深タイラーの田んぼの真ん中に棒を立てて、その棒に綱をかけることができるか賭けをしよう。ただし、田んぼの中には一歩も入ってはいけないんだよ」「まさか一歩も入らずにできるわけがない」とロク々に言っていた。すると、一人の男が、「おれにはできる」と名のりをあげた。
そこで、その男と残りのみんなとに分かれ、賭けをすることになりました。できないといった組の男が、田んぼの真ん中に棒を立ててきた。できると言った者は、長い長い綱を持ってきて、その綱の切り口を持ったまま、田んぼのまわりをぐるぐる歩くと歩いてひと回りしただけで、その綱をつかんでそろそろと引っぱった。
その輪はだんだん小さくなって、ついに棒に巻きついた。それで、その男が賭けに勝ったという話でした。



部落のシーサー

本部の広場を通って、ずっと上の方へ行くと、そこに部落獅子がある。獅子は大通りから二、三間奥の方の、荒野の中にあつた。村の若者たちが集まって、「夜になったら目隠しして、だれが一番先にあの獅子にたどり着けるか賭けをしよう」ということになった。
すると、知恵者の目病み男は、昼間のうちにこっそり出掛け、何歩で行けるかを計算し、夜にそなえた。そんなわけで、この男は賭けが始まると、走って行って獅子にさわりの、一番になったそうぞ。



The village shisa

When passing through Motobu square and going all the way up, you will see a district shisa, or lion-dog statue. On the side of the main road, the shisa is situated in a rough field. Youth of the village got together one day. "At night, let's bet by putting a bandage on our eyes and see who will be able to reach the shisa first." The wise man suffering from eye pain secretly got out of his house during daytime, calculated how many steps he would need to reach the goal, and got ready at nighttime. At the spot, he started the game and was the first to reach the statue, therefore winning the bet.

一碗のソーミン

昔、南風原の本部という部落に、知恵のある男がおつた。しかし、どういわけか男はひどい目病で、まともに目を開けることができない。もちろん太陽のまぶしさにはたえられないので、いつも下を向いて歩いていた。そんな男に知恵があろうかと疑わしいのだが、この男はなかなかの知恵者だった。

ある日、村の青年たちの集まっているところへ出かけて行って、青年たちに、「君たちはソーミン一碗食べることができるか」と聞いた。すると、青年たちは、「一碗くらいなら簡単に食べられるさ」とばかにしたように答えた。「それじゃ賭けをしよう。もし食べられなかったら酒三合を私にくれ。食べることができたなら、私がみんなに酒をあげよう」と話が決まり、早速、ソーミン一碗持って来たのである。

運ばれたソーミンは、まん中にお箸を立てて、それにたくさんソーミンを巻きつけてあるので、どうしても食べきれず、とうとう若者たちは酒三合を出すはめになってしまった。



The bowl of somin

A long time ago, in the Haebaru district of Motobu, lived a wise man. However, he had a severe eye disease and was therefore unable to open his eyes. Of course the dazzling sun was too much to cope with, so he was always walking face down. To many, his cleverness was doubtful, but he was in fact a very clever person. One day he went to a spot where youth of the village were gathering. There he asked them if they would be able to eat a bowl of somin (local noodles). The youth answered back mockingly that one bowl wouldn't be a problem. "Well, let's gamble. If you can't finish your bowl, you owe me a bottle of liquor. On the other hand, if you can eat everything, I will treat you all with liquor." The deal was set, no time was lost and the wise man brought a bowl of noodles. Unfortunately for the youth, the noodle-filled bowl had chopsticks vertically inserted on top of it, symbolizing death. There was no way the youth would eat this dish and settled to treat the wise man to a bottle of liquor.

活気ある Administration 行政を。



町長 城間俊安



副町長 大城徳次郎



教育長 大城 昇



ひらめきを熟知、着実に行動にうつす町。

現在は、社会性の複雑化、価値の多様化等により、町民一人ひとりのニーズ、要望も多岐にわたる時代ですが、目指すところは同じはず。町では、すべての人が安心して快適な生活、幸せな生きがいのある人生をおくることができるよう努めています。そのため、役場の窓口を広げ、より多くの人に話を聞いたり、広報活動を充実させ、町民との意志の疎通を図ったりと連絡を密にしています。

町民の声に、柔軟かつ迅速に対応し、創意工夫をこらした積極的な運営をすすめています。



南風原タウンナビ

ココにアクセス!!

携帯電話から利用できます。以下のアドレスを利用ください。(ドコモ、au、ソフトバンクから利用可)

携帯版 町ホームページ
http://www.town.haebaru.okinawa.jp/i

携帯電話で南風原町の情報が入手できます。

一発アクセス!
携帯のバーコードリーダーをご利用の方はこちらから!!



カナダから贈られた記念石

カナダとの交流

(2000年7月沖縄サミット)

2000年7月に沖縄で開催されたサミットで、カナダのクレイティエン首相が南風原町を訪問されました。その記念として南風原町民に記念の石が贈られました。



役場施設のご案内

5F 議場・議事事務局

4F 教育長室・教育総務課・学校教育課・まちづくり振興課
都市整備課・区画下水道課

3F 町長室・副町長室・総務課・企画財政課

2F 保健福祉課・こども課・国保年金課

1F 住民環境課・税務課・会計課

B1 書庫・倉庫



Administration

Nowadays, understanding the complexity of social matters and the many variations of values, we are striving to answer every one of our citizens regarding their needs and demands in various fields. In our town, we are working so that everyone would be able to live safe, pleasant and happy lives. In order to achieve that, the hall counter has been enlarged to more easily facilitate communication between people, making public relations more satisfactory. We strive to support townspeople's will to communicate, placing great importance on contacts between one another. Responding to resident requests, we are promoting positive management, elaborating on original ideas to allow flexible and prompt responses.



情報満載



南風原町のホームページ

南風原町の事を少しでも知りたいというなら、「はえばるネット」にアクセス。行政のことから、文化、歴史、イベント情報など様々な情報を網羅しており、南風原町のほとんどのことを知ることができる。これであなたも南風原通?。

<http://www.town.haebaru.okinawa.jp/>



情報満載

広報 はえばる

南風原町内の動き、情報をわかりやすく紹介した広報誌。毎月、思考を凝らした表紙が好評で、南風原町のヒーロー（かぼちやマンや、ストレッチャーマン、ウーマク一星人）などが広報活動に華を添えている。





議長 金城 成長 副議長 花城 清和

議会

Assembly

議会事務局
Assembly Secretariat

町民の声を行政に活かす。

南風原町議会は、16人の議員で構成されています。議員は町民の代表として選出され、町政の円滑な運営、町民が安心して生活できるように条例や予算等を提案、議決します。定例会は年4回開かれ、必要に応じて臨時議会が開かれます。また、本会議の他、三つの常任委員会（総務財政・経済建設・教育民生）があります。



役場ロビーでの傍聴
町役場の1Fロビーにて議会の生放送を傍聴することができます。



Listening to and acting on citizen voices at the administrative level

The assembly of Haebaru Town is composed of 22 assemblymen. Elected as representatives by the townspeople, they smoothly manage the town administration, propose and vote on regulations and budgets for town residents to live in the best conditions. Regular meetings are open four times a year, with extraordinary meetings held when needed. Also, next to the main assembly are three standing committees deliberating on "general affairs & finances," "economy & construction" and "education & public welfare."

資料編 DATA

■土地・気候・人口・財政……………45～46	■町歌・町民音頭……………48
・住民基本台帳人口と世帯数の推移	・南風原町歌
・年齢5歳階級別人口	・南風原音頭
・年齢3区分別人口割合の推移	■南風原のあゆみ……………49～50
・町の位置及び面積	■テレホンガイド……………51～52
・平成18年月別気温と湿度及び降水量	・町の公共施設
・町内の河川	・国の公共施設
・主な丘陵	・県の公共施設
・平成17年度一般会計決算	・その他の施設
・町民税の内訳	
■歴代四役・歴代議長・副議長……………47	■機構図……………53
・歴代町村長	・南風原町行政機構図
・歴代助役	
・歴代収入役	■目で見える南風原……………54
・歴代教育長	
・歴代議長・副議長	

南風原町『町民憲章』

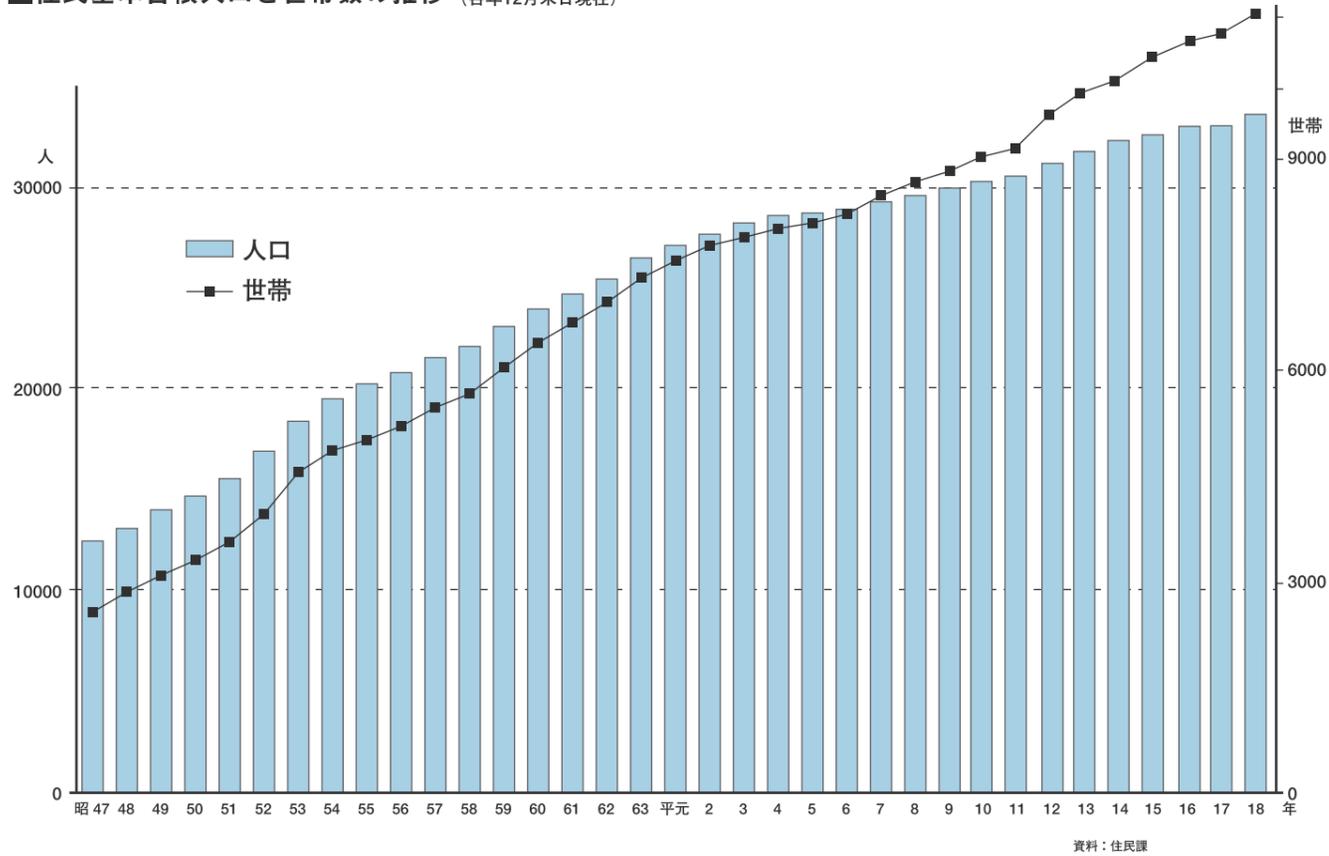
私たちは、南風原町民であることに誇りを持ち、
みんなで力をあわせ、明るく、豊かで、住みよい町を
つくるため、すすんで次のことを実行しましょう。

- 一 私たちは、教育を大事にし、
文化のかおり高い町をつくりましょう。
- 一 私たちは、自然を愛し、みどり豊かな
美しい町をつくりましょう。
- 一 私たちは、健康で明るい家庭を
つくりましょう。

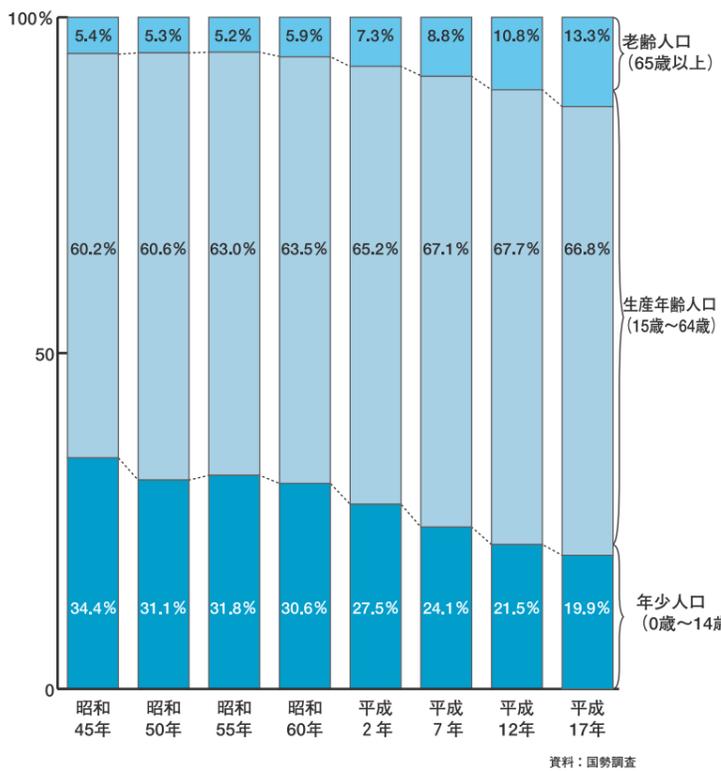
- 一 私たちは、きまりと時間を守り、
住みよい町をつくりましょう。
- 一 私たちは、よく働き、よく学び、
豊かな町をつくりましょう。

(昭和五八年四月一日制定)

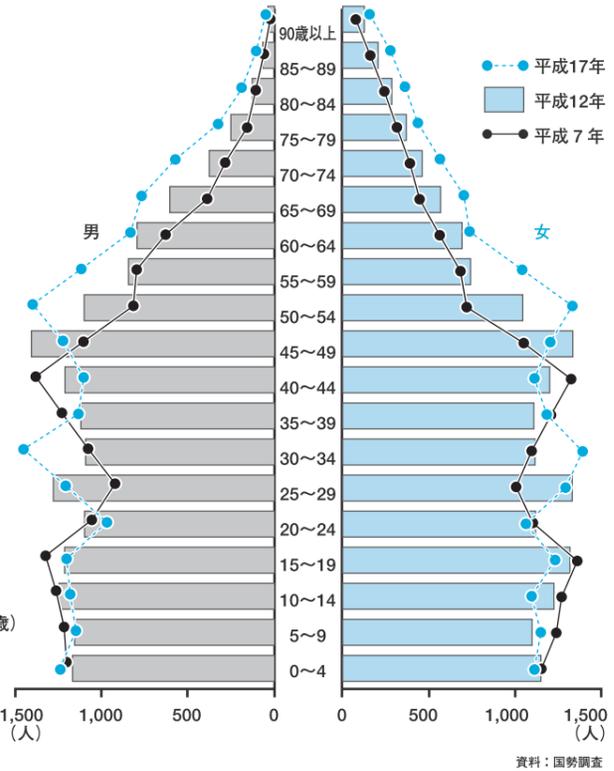
■住民基本台帳人口と世帯数の推移 (各年12月末日現在)



■年齢3区分別人口割合の推移



■年齢5歳階級別人口



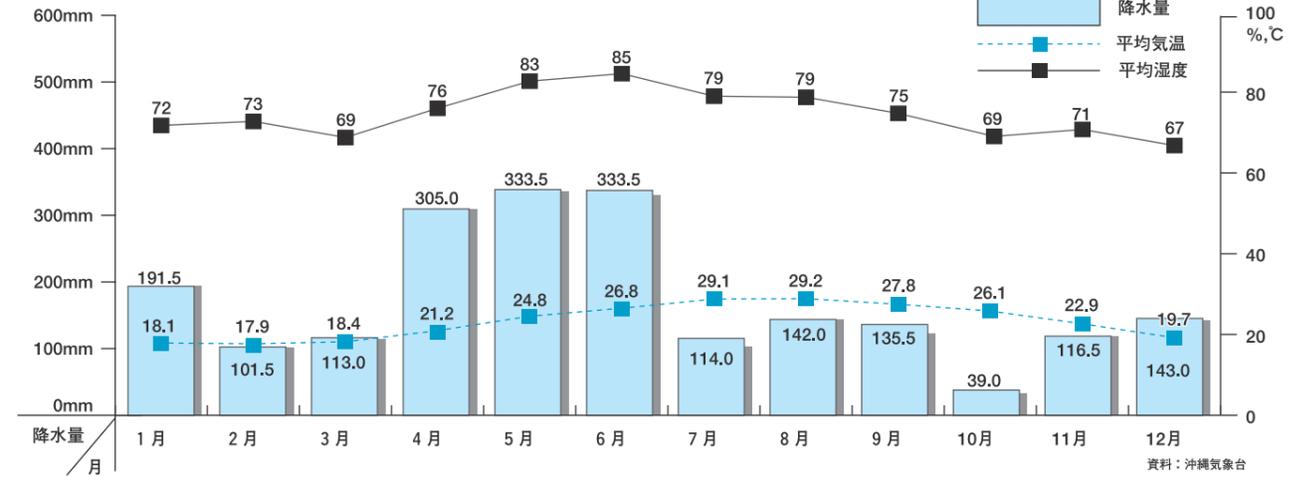
■町の位置及び面積

(平成17年10月1日現在)

南風原町の位置・面積				庁舎の位置	
方向	地名	経緯度	面積	所在地	経緯度
極東	与那覇	東経 127° 45' 2"	10.72K㎡	字兼城686番地	東経 127° 43' 52" 北緯 26° 11' 14"
極西	津嘉山	東経 127° 42' 35"			
極南	神里	北緯 26° 9' 52"			
極北	新川	北緯 26° 12' 52"			

※国土地理院「平成14年全国都道府県市区町村別面積調」より

■平成18年月別気温と湿度および降水量



■主な丘陵

名称	標高
黄金森	85.0 m
高津嘉山	87.1 m
新川森	137.1 m

資料：文化課

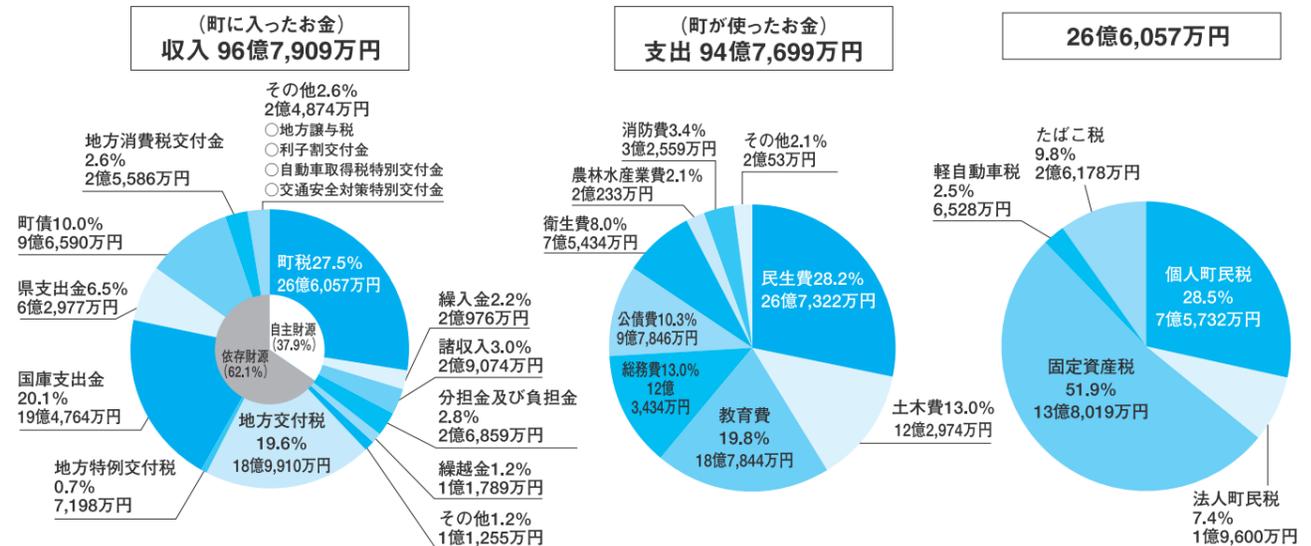
■町内の河川

(平成18年4月1日現在)

種別	河川	指定延長 (m)	流域面積 (km ²)
河二川級	国場川	9,100	43.06
	長堂川	2,300	7.39
準用河川	安里又川	800	1.77
	手登根川	800	1.14
	宮平川	1,800	3.41
	長堂川	1,053	6.04

資料：建設課

■一般会計 (平成17年度一般会計決算)



●歴代町村長

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	仲里 徳太郎	明治41年4月	津嘉山
2代	与那嶺 甚先	〃 45年4月	宮城
3代	神里 多一郎	大正5年10月	山川
4代	神里 多一郎	〃 9年10月	〃
5代	神里 吉三郎	〃 13年8月	〃
6代	仲本 亀五郎	昭和3年8月	兼城
7代	仲本 亀五郎	〃 7年8月	〃
8代	金城 栄禮	〃 12年5月	喜屋武
9代	金城 栄禮	〃 16年5月	〃
10代	与座 章三郎	〃 21年4月	津嘉山
11代	照屋 善清	〃 23年3月	神里
12代	照屋 善清	〃 25年10月	〃
13代	金城 広太郎	〃 29年5月	津嘉山
14代	金城 広太郎	〃 33年5月	〃
15代	赤嶺 保信	〃 37年5月	喜屋武
16代	赤嶺 保信	〃 41年5月	〃
17代	野原 広仁	〃 45年5月	〃
18代	大城 徳盛	〃 49年5月	照屋
19代	大城 徳盛	〃 53年5月	〃
昭和55年4月1日町政移行			
初代町長	大城 徳盛	昭和55年4月	照屋
2代	大城 徳盛	〃 57年5月	〃
3代	金城 義夫	〃 61年5月	津嘉山
4代	金城 義夫	平成2年5月	〃
5代	金城 義夫	〃 6年5月	〃
6代	城間 俊安	〃 10年5月	〃
7代	城間 俊安	〃 14年5月	〃
8代	城間 俊安	〃 18年5月	〃

●歴代教育長

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	新垣 照行	昭和47年5月15日	与那覇
2代	新垣 照行	〃 48年4月1日	〃
3代	新垣 照行	〃 52年4月1日	〃
4代	新垣 照行	〃 56年4月1日	〃
5代	照屋 善一	〃 56年6月13日	神里
6代	照屋 善一	〃 60年4月1日	〃
7代	中村 清	〃 62年4月1日	宮平
8代	中村 清	平成元年4月1日	〃
9代	中村 清	〃 5年4月1日	〃
10代	神里 富夫	〃 9年4月1日	津嘉山
11代	大城 昇	〃 13年4月1日	〃
12代	大城 昇	〃 17年4月1日	〃

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月	備考
初代	神里 吉三郎	明治41年4月	山川
2代	神里 吉三郎	〃 45年4月	〃
3代	神里 吉三郎	大正5年10月	〃
4代	神里 吉三郎	〃 9年10月	〃
5代	大城 喜四郎	〃 13年8月	津嘉山
6代	金城 栄禮	昭和3年8月	喜屋武
7代	金城 栄禮	〃 7年8月	〃
8代	与座 章三郎	〃 12年6月	津嘉山
9代	与座 章三郎	〃 16年6月	〃
10代	神里 昌慶	〃 21年4月	山川
11代	金城 広太郎	〃 23年3月	津嘉山
12代	金城 広太郎	〃 25年10月	〃
13代	赤嶺 保信	〃 29年5月	喜屋武
14代	赤嶺 保信	〃 33年5月	喜屋武
15代	大城 徳盛	〃 37年5月	照屋
16代	大城 徳盛	〃 41年5月	〃
17代	大城 徳盛	〃 45年5月	〃
18代	赤嶺 英助	〃 49年6月	宮平
19代	赤嶺 英助	〃 53年6月	〃
20代	赤嶺 英助	〃 57年6月	〃
21代	赤嶺 英助	〃 61年6月	〃
22代	大城 茂	平成2年6月	兼城
23代	大城 茂	〃 6年6月	〃
24代	大城 徳次郎	〃 10年6月	本部
25代	大城 徳次郎	〃 14年6月	本部
26代	大城 徳次郎	〃 18年6月	〃

●歴代議長・副議長

歴代	職名	就任年月	備考
1	議長	大城 森	兼城
	副議長	与座 章三郎	津嘉山
2	議長	与座 章三郎	〃
	副議長	中村 義永	宮平
3	議長	新垣 孝亀	与那覇
	副議長	金山 善律	津嘉山
4	議長	新垣 孝亀	与那覇
	副議長	金山 善律	津嘉山
5	議長	仲里 清善	〃
	副議長	新垣 孝亀	与那覇
6	議長	大城 亀吉	宮平
	副議長	吉村 正一	津嘉山
7	議長	神里 富夫	山川
	副議長	吉村 正一	津嘉山
8	議長	吉村 正一	〃
	副議長	大城 栄吉	宮平
9	議長	吉村 正一	津嘉山
	副議長	大城 茂	兼城
10	議長	大城 茂	〃
	副議長	知念 政賀	大名
11	議長	大城 誠守	神里
	副議長	大城 春喜	喜屋武
12	議長	大城 新次	兼城
	副議長	野原 広造	喜屋武
13	議長	城間 俊安	津嘉山
	副議長	大城 栄一	本部
14	議長	新垣 善清	与那覇
	副議長	中村 勝	宮平
15	議長	城間 兵勝	兼城
	副議長	中村 静枝	兼城
16	議長	金城 成長	津嘉山
	副議長	花城 清和	新川



南風原町歌

♩=104 はつらつと

あけゆくあさよなんごくのそら
にーかがやくひーのひかり
あふれるのぞみはつらつと
ああやくしんのくもがとぶわれ
らがきょうどはえばるーちよう

南風原町歌

作詞 南 益子
作曲 田場 盛徳
編曲 与儀 亨

明けゆく朝よ 南国の
空にかがやく 陽の光り
溢れる希みはつらつと
あゝ躍進の 雲が飛ぶ
われらが郷土 南風原町
はたらく汗よ 建設の
ちから寄せ合う 意気と熱
そよ吹く風も さわやかに
あゝ生産の 歌が湧く
われらが郷土 南風原町
伸びゆく夢よ 沖縄の
明日を呼んでる 自治の郷
黄金の森も 美しく
あゝ人の和の 花が咲く
われらが郷土 南風原町
(昭和46年4月18日制定)

南風原音頭

リズムカルに

かすりむすめの えがおにあげて フゲンビレアが さきにおーうー
ここははえばる かすりのさとよ ゆたーかな ーまーちのー
ゆめをおーる ーゆめをおーる サツサ はえばるおんどは へいわのおんど
みんなそろって うたえやおどれ ユリテイクーユリテイク ドンミカセ サツサ
ヒヤーーユイ ハーイヤ イヤサツサ

南風原音頭

作詞 中村 弘
作曲 南風原音頭選定委員会
編曲 照屋 林賢

① かすり娘の 笑顔にあげて
ブーゲンビレアが 咲き匂う
ここは南風原 かすりの里よ
豊かな町の 夢を織る
※ サツサ
南風原音頭は 平和の音頭
みんなそろって うたえやおどれ
ユリテイク ユリテイク ドンミカセ
サツサ
ヒヤーユイ ハーイヤイヤサツサ
(以下各節はやし略)

② きみは南瓜で わしゃ甘蔗作り
土の香りが 花つくり
働く汗も ころろに泌みて
※ 黄金森には 十五夜お月
盆の踊りも にぎやかに
たのし獅子舞 ああ綱曳きに
燃えて景気も 湧きあがる

③ 浦島太郎 御宿井
天女の伝説の 悲風の丘に
巡りたずねて 祈りの塔へ
※ 誓う心は

④ うね御万人は うちとけて
心ひとつに 弥勒世まねき
踊る手と手が 花ざかりへ
※ 町は文化の

⑤ (四分二十九秒)

南風原のあゆみ

年	月日	沿革
明治41年	4	町村制施行に伴い、勅令第46号によって間切を村に改め、南風原村となる
昭和16年	4/1	南風原小学校を南風原国民学校に改称する
昭和20年	5	南風原国民学校戦災により焼失
昭和21年	1/23	南風原村役所設置する(大見武に)
	2/1	南風原小学校開校、大見武において挙行する
	4/20	南風原村農業組合設置される
	10/12	南風原小学校敷地に村役所を設置する
昭和22年	8	南風原村婦人会結成する
	8	南風原村青年連合会結成する
昭和23年		南風原村校舎復興期成会結成
	4/1	学制改革により6・3・3制が実施され、南風原中学校が創立される
昭和25年	9/1	南風原村役所の新庁舎が兼城に落成(現南風原小学校敷地)
	9	南風原村に納骨堂をつくり、1003柱の慰霊祭を行なう
昭和26年	4/1	南風原村大名分離し字となる
	8	村農業改良委員会設置
昭和27年	4/28	納骨堂の全遺骨を火葬し、納骨祭行なう
	5/11	南風原区教育委員会誕生する
昭和28年	7/11	南風原小学校鉄筋コンクリート校舎落成
	10/10	南風原村農業協同組合より津嘉山農業協同組合分離する
昭和29年	12/1	津嘉山、照屋、本部、喜屋武、兼城、宮平、与那覇の7部落沖配電により、点灯
昭和30年	3	山川、神里、沖配電により点灯
	7	宮城、大名、沖配電により点灯
昭和32年	2	新川、沖配電により点灯
	3	南風原土地改良組合創立
昭和34年	9	南風原村役所鉄筋コンクリート新庁舎落成(現庁舎)
昭和35年	10/15	南風原村に県立精和病院建設工事着工
昭和36年	1	宮城公民館落成祝賀会
	8	南風原中学校鉄筋コンクリート校舎落成
昭和38年	9	南風原村に慰霊塔建つ
	9/17	南風原村老人クラブ連合会結成
昭和40年	6/1	南風原小、中学校完全給食実施する
昭和41年	3	南風原陸軍病院跡に悲風の丘記念碑建つ
	6	南風原村兼城に慰霊祈和の塔建つ
	6	役場コンピューター導入(沖縄で初めて)
昭和44年	3/14	南風原村青少年健全育成協議会発足
	12/14	南風原小学校体育館落成する
昭和45年	7	大名の摩文仁家の墓、有形文化財建物として県指定
昭和46年	4/18	村歌・村章が制定される
	9/10	南風原村史発刊する
	10/1	村立宮平保育所落成
昭和47年	3/17	南風原小、中学校運動場整備着工
	5/15	本土復帰により南風原村役所を役場に改称
	5/15	本土復帰により南風原教育区教育委員会が南風原村立教育委員会となる
	5/16	通貨切替(ドルから円へ)
	10/1	救急業務開設(大型消防車購入)
	10/1	国民健康保険制度を実施する
	10/1	農業委員会設置する
昭和48年	4/1	村立幼稚園(宮城、兼城、宮平、本部、照屋、津嘉山)
昭和49年	3/31	村立幼稚園舎落成(南風原、津嘉山)
	10/27	南風原中学校体育館落成
	11/27	南風原村総合計画策定される
昭和50年	4/1	南風原村立津嘉山小学校開校

年	月日	沿革
	6/1	津嘉山小学校、南風原小学校より分離
	8/29	南風原村社会福祉協議会設立
	8/29	家庭奉仕員制度開始
昭和51年	4/1	東部消防本部設立
		神里地区土地改良事業着工
	10/29	かぼちゃ特産地宣言
	10/30	神里児童公園完成
昭和52年	3/30	学校給食共同調理場落成
	10/18	琉球かすりの里宣言
	11/1	県営第一南風原団地入居
	11/5	南風原村商工会結成
	12/8	住宅供給公社分譲団地入居
	12/10	津嘉山小学校体育館完成
昭和53年	2/25	南風原村立中央公民館落成
	4	端末機(コンピューター)導入
	10/10	南風原町体育協会 文部大臣から表彰される
	10/26	県営第二南風原団地入居
昭和54年	1/21	南風原村が国から「琉球かすり」の産地に指定される
	7/19	南風原村交通安全推進協議会結成される
	12/26	南風原中学校生徒による模擬議会開催される
昭和55年	3	南風原小学校プール完成
	4/1	南風原町として町制が施行される
	4/12	琉球かすり会館落成
	4/26	第1回南風原まつり開催
	7/19	南風原町立津嘉山地区公民館落成
昭和56年	4/1	南風原小学校の校区の一部変更により、第二団地を津嘉山小学校へ編入
	5/8	社会福祉センター落成
	5/20	津嘉山小学校プール完成
	8/25	南風原町身体障害者福祉会結成
	11/12	映画「ひめゆりの塔」旧陸軍病院跡で撮影始まる(28年ぶり)
昭和57年	2/27	南風原町献血推進協議会結成
	3/29	「非核平和の町」宣言
	4/1	東部消防組合南風原分遣所の新庁舎完成する
	4/7	南風原町立北丘小学校開校
	6/25	南風原町交通安全母の会結成される
	8/7	津嘉山大綱曳き10年ぶりに開催
	9/1	北丘小学校、幼稚園の落成(南風原小学校、幼稚園より分離)
	12/25	町の木にリュウキュウコクタン、町の花にプーゲンビレアが制定される
昭和58年	1/27	健康づくり推進協議会発足
	4/1	「町民憲章」制定
昭和59年	1/19	宮平川河川改修工事開始
	3/25	第1回南風原町社会教育大会開催
	4	町教育委員会文部大臣より表彰
	9/6	国体南風原町実行委員会設立
昭和60年	8/26	南風原町総合計画審議会発足
	11/29	第1回南風原町社会福祉大会開催
	12/7	第2回南風原まつり開催
昭和61年	3/8	第1回こどもまつり開催
	3	第二次南風原町総合計画書策定
	5/1	南風原高校線開通
	6/28	第1回町民健康まつり開催
	10/8	全国学校給食研究大会で津嘉山小学校が文部大臣表彰される
	11/29	国体リハーサル大会開催

南風原のあゆみ

年	月日	沿革
昭和62年	2/28	南風原勤労者体育センター落成
	3/31	照屋農村コミュニティセンター落成
	3/31	町の人口2万5千人突破
	4/1	南星中学校開校(南風原中学校より分離)
	6/5	外国人英語教師招へい
	8/17-24	「飛び安里」展開催
	10/25-30	海邦国体開催(成人女子バスケットボール)
昭和63年	3/17	番所跡にテニスコート完成
	4/1	学校教育指導主事配置
	6/6	琉球耕振興審議会設置
	8/30-31	第1回南風原町福祉まつり開催
	8/9	学校給食調理場移転落成式
	10/1	北丘ハイツ自治会誕生
平成元年	4/21	南風原町赤十字奉仕団結成
	5/1	印鑑証明書発行オンライン化
	8/3	町出身南米留学生受け入れ事業スタート
	11/3	南風原文化センターオープン
平成2年	1/17	町道10号線道路改良工事起工式
	4/1	町制施行10周年記念式典
	4/28	北丘児童館落成式
	6/2	本部公園オープン
	6/27	「南風原陸軍病院跡」を町文化財に指定
平成3年	4/5	翔南小学校(幼稚園)開校(園)
	4/20	兼城児童館落成
	8/17	飛び安里初飛翔顕彰記念碑が完成
	11/5	中央公民館が文部大臣賞を受賞
	11/8-29	土のグスク、クニド一遺跡が見つかる
平成4年	4/18	本部児童館落成
	5/1	住民課で昼休み時間中の窓口業務開始
	5/27	南風原共同福祉施設完成
	7/17-18	10年ぶりに津嘉山大綱曳きが行われた
平成5年	4/17	津嘉山児童館落成
	8/7-8	愛媛県八幡浜市で、南風原の物産展を開催
	8/12-21	第1回国際交流団として中高生10名がハワイへ
平成6年	2/26	公民館まつりで第一回ウチナーグチ大会を開催
	6/1	在宅介護支援センターが開所
	8/23	JA津嘉山がストレリチアの産地宣言
	9/18	本部・喜屋武・照屋を結ぶ、かすりの道完成
平成7年	1/24	琉球耕事業協同組合20周年事業で、かすりの歌「夢織人」を披露
	3/11-12	第2回町民劇場で「黄金南風の詩」上演
	4/1	宮城公園オープン
	6/4	町民劇団の黄金森劇団が結成
	7/3	ごみの5種類分別門口収集がスタート
	8/1	県立公文書館オープン
平成8年	3/25	ハワイ南風原町人会が初来県
	4/1	共同作業所「はんどinはんど」が福祉センター内にオープン
	7/24	第三次南風原町総合計画策定
平成9年	6/21	南風原国民学校の卒業式が52年ぶりに行われる
	8/9-10	平和創造劇「卒業証書」を町民で上演
	8/10	南風原町ジュニアリーダークラブ結成
	8/18	南風原町の人口が3万人に
	8/24	町婦人連合会が結成50年を迎え、名称を町女性連合会に改めた
	12/15	南風原町商工会設立20周年記念式典開催
平成10年	2/14	古紙をリサイクルした「かすりペーパー」発売
	3/21	役場新庁舎落成式

年	月日	沿革
	6/2	子どもエコクラブ県内初の誕生
	10/27	町女性連合会が環境庁長官賞受賞
平成11年	3/1	地域振興券交付
	3/20	宮平保育所完成
	6	ごみ袋指定化スタート
	7	町史「第2巻」・「第3巻」発刊
平成12年	4/1	町政施行20周年
	4/21	カナダ首相を訪ね町民210名カナダへ
	6	男女共生社会を創る懇話会設立
	7	南風原の自然と地理発刊
	7/21	沖縄サミット、クレティエン首相来町
	8/19-20	第3回町民劇場「弓太郎幻想」上演
	11/5-5	南風原・アジア耕ロードまつり
平成13年	4/28	黄金森公園・陸上競技場オープン
	7/1	宮平ハイツ自治会結成
	7	町議会史発刊
	9/15	第1回「小中学生陸上競技大会」
平成14年	3	男女共同参画計画「まじゅんプラン」策定
	4/1	学校週休5日制始まる
	4/1	町情報公開制度・個人情報保護制度スタート
	6/30	ホッケー日本リーグ「日光アイスバックス」が来町。交流試合が行われる
	7/8	東部消防南風原出張所落成
	8	住基ネットスタート
	10/1~	青少年交際交流事業、初めてカナダへ
平成15年	3/16	与那覇コミュニティセンター落成
	6/30	カナダレスブリッジ市と友好都市締結
	8/18	市町村合併に向け、各字との意見交換会始まる
	9/9	市町村合併に向けての住民アンケート実施
	10/17	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会設置
平成16年	3/1	南風原幼稚園新園舎完成
	4/9	琉球耕・南風原花織町無形文化財認定
	9/1	南風原小学校新校舎完成
	9/29	南風原・東風平・大里・具志頭合併協議会解散
	10/2	黄金森野球場オープン
	10/26	南風原かぼちゃ拠点産地認定
平成17年	1/12	町財政健全化計画・町職員適正化計画策定
	2/5	花・水・緑の大回廊公園オープン
	4/1	町制施行25周年記念式典
	6/22	ストレリチア拠点産地認定
	7/1	昼休みの窓口業務拡大
	10/28~	琉球耕事業協同組合設立30周年記念事業
	12/1	ごみ分別変更 プラスチック類が燃えるごみへ
	12/17	映画館「ザザンプレックス」オープン
平成18年	1	国勢調査速報結果 町人口33,538人
	2/12	津嘉山幼小創立30周年
	4/1	那覇・南風原クリーンセンター稼働
	4/16	県立南部医療センター・子ども医療センター開院
	4/16	南風原町長選挙 城間俊安氏3選
	5/9	カナダレスブリッジ市制100周年へ町民35人が訪問
	9/10	町議会議員選挙 議員定数22名が16名へ
	9/22	新川に那覇バス新社屋オープン
	12/21	南風原中学校新校舎完成
平成19年	3	第4次南風原町総合計画策定

■町の公共施設 (市外局番098)

名称	所在地	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話番号
南風原町役場	南風原町字兼城686番地	6,320	7,247	889-4415
学校給食共同調理場	〃 宮城248	8,944	1,156	889-3691
町立宮平保育所	〃 宮平785	2,933	702	889-3920
町立公民館				
中央公民館	〃 兼城689	4,454	2,263	889-0568
津嘉山地区公民館	〃 津嘉山343	3,391	1,228	889-1435
町立幼稚園				
南風原幼稚園	〃 兼城684	4,380	1,333	889-4101
津嘉山幼稚園	〃 津嘉山684	5,496	681	889-4559
北丘幼稚園	〃 宮平336	6,007	542	889-6815
翔南幼稚園	〃 喜屋武381	5,120	445	889-7133
町立小学校				
南風原小学校	〃 兼城685	22,626	8,255	889-2088
津嘉山小学校	〃 津嘉山684	19,608	7,306	889-1230
北丘小学校	〃 宮平336	45,551	7,857	889-6520
翔南小学校	〃 喜屋武450	36,600	6,768	889-3401
町立中学校				
南風原中学校	〃 兼城780	26,223	9,163	889-2095
南星中学校	〃 照屋200	36,406	10,024	888-0432
文化センター	〃 兼城716	1,201	1,376	889-7399
社会福祉センター	〃 照屋1	4,604	1,488	889-3213
琉球かすり会館	〃 本部157	1,814	766	889-1634
農村コミュニティセンター	〃 照屋134	525	292	889-6632
与那覇コミュニティセンター	〃 与那覇59	2,183	433	889-2259
兼城児童公園	〃 兼城170	1,563	13	
本部近隣公園	〃 本部352	17,717	14	
宮城近隣公園	〃 宮城242-3	20,618	65	
神里ふれあい公園	〃 神里712-1	10,375	45	
黄金森公園	〃 宮平718-1	132,069	3,140	835-6755
北丘児童館	〃 宮平489-1	696	295	889-3883
兼城児童館	〃 兼城84	601	328	889-6114
本部児童館	〃 本部116	977	370	889-5008
津嘉山児童館	〃 津嘉山663-1	898	405	888-2925

■国の公共施設 (市外局番098)

名称	所在地	電話番号
南風原郵便局	南風原町字兼城684番地の9	889-0720
津嘉山郵便局	〃 津嘉山1462番地の2	889-0702
宮平郵便局	〃 宮平258番地の3	888-3533

■県の公共施設 (市外局番098)

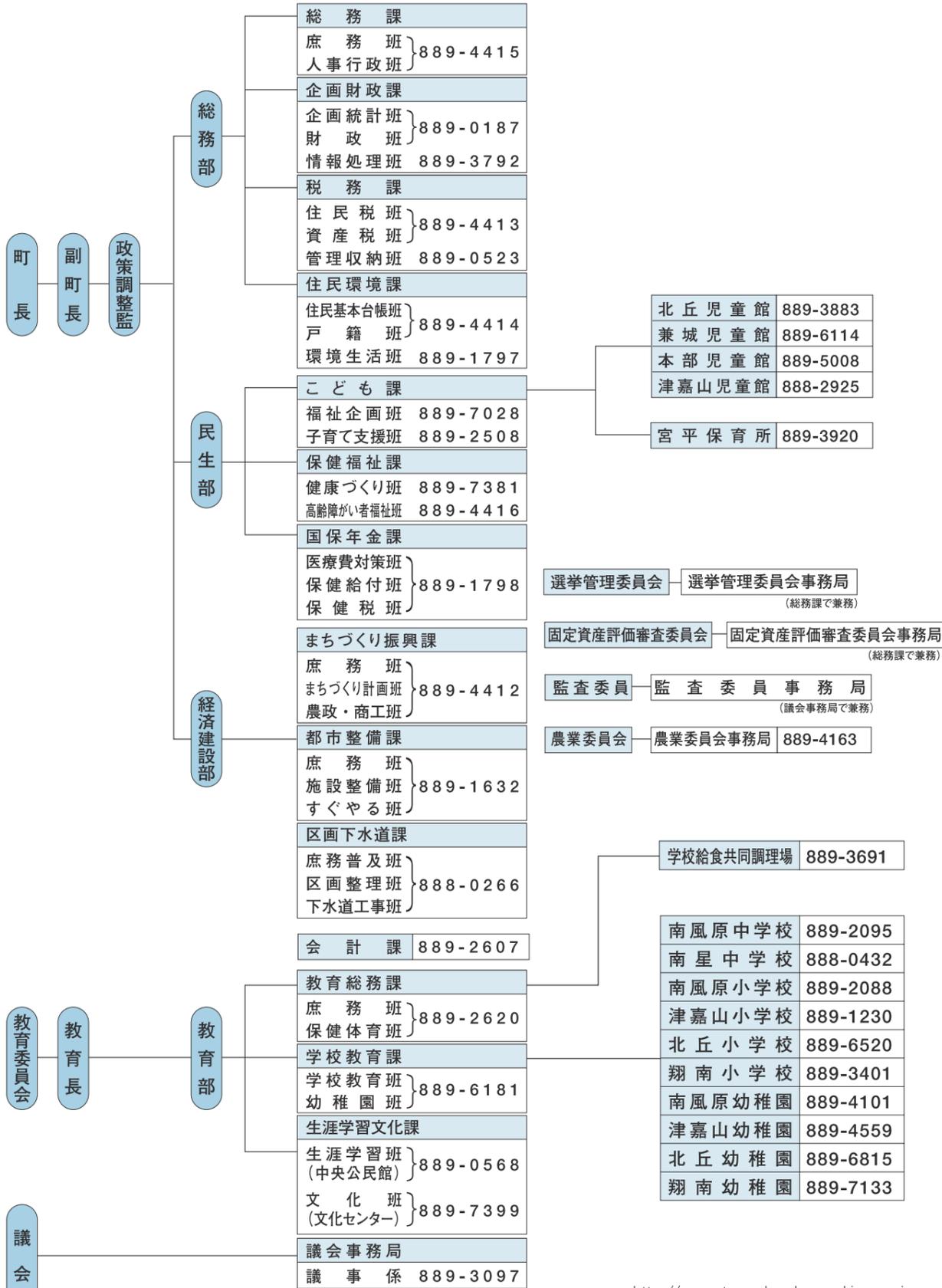
名称	所在地	電話番号
農業試験場蔗作室	南風原町字新川168番地	889-5024
南部農業改良普及センター	〃 山川517	889-3515
南部林業事務所	〃 新川135	889-1270
工芸指導所	〃 照屋213	889-1186
計量検定所	〃 新川272	889-2775
南風原高校	〃 津嘉山1140	889-4618
開邦高校	〃 新川646	889-1709
沖縄縄盲学校	〃 兼城468	889-5375
精和病院	〃 新川260	889-1390
兼城交番	〃 兼城125-3	889-3892
津嘉山駐在所	〃 津嘉山577	889-3862
南部保健所	〃 宮平212	889-6351
総合精神保健福祉センター	〃 〃	888-1443
沖縄県公文書館	〃 新川148-3	888-3875
沖縄県立てるしのワークセンター	〃 宮平206-1	889-4011

■その他の施設 (市外局番098)

名称	所在地	電話番号
南風原町社会福祉センター	南風原町字照屋1番地	889-3213
おきなわ希望の家	〃 神里631	889-4102
おきなわ太陽の町	〃 〃	889-5321
沖縄中央育成園	〃 宮平548-1	889-4100
よもぎ学園	〃 宮平550	889-6011
南風学園	〃 宮平540	889-4878
東部消防組合本部	〃 与那覇226	945-2200
東部消防署南風原出張所	〃 津嘉山966	889-5174
南風原共同福祉施設	〃 本部158	889-6889
勤労者体育センター	〃 山川196	
南風原町商工会	〃 本部158	889-6121
沖縄県土地改良事業団体連合会	〃 本部453-3	888-4511
沖縄県農業協同組合南風原支店	〃 山川526	889-3923
沖縄県農業協同組合津嘉山支店	〃 津嘉山343	889-5525
那覇市環境業務課	〃 兼城590	889-3092
那覇市清掃工場	〃 新川641	889-0594
那覇市リサイクルプラザ	〃 新川641	889-5317
JA南風原支店野菜集出荷場	〃 山川518	889-3925
JA南風原支店花卉集出荷場	〃 山川519	
JA南風原支店育苗センター	〃 山川522-3	
JA津嘉山支店集出荷場	〃 津嘉山33	889-4860
JA津嘉山支店堆肥センター	八重瀬町字外間153-2	998-4143

南風原町行政機構図

☎市外局番 (098)



<http://www.town.haeburu.okinawa.jp>

目で見る南風原

人口密度
(H18・12月末)



1km²に3,140人

世帯人数
(H18・12月末)



1世帯に3.0人

転入
(H18・1~12月)



1日に5.3人

転出
(H18・1~12月)



1日に4.6人

出生
(H18・1~12月)



1日に1.2人

死亡
(H18・1~12月)



2日に1人

結婚
(H18・1~12月)



2.0日に1カップル

離婚
(H18・1~12月)



5.6日に1カップル

ゴミ収集量
(H17年度)



1月1人当たり21.9kg

水道使用量
(H17年度)



1日1人当たり327ℓ

火災
(H18・1~12月)



年8件

救急出動
(H18・1~12月)



年1,187件

原動機付自転車
(H18・4・1現在)



2.9世帯に1台

一般会計の決算 (H17年度)



歳出=114億9,183万円

1人当たり34万6,389円

町の借金
(H17年度)



11億2,150万円

1人当たり3万4,560円

町税負担
(H17年度)



1人当たり8万195円

医師 (歯科医師含む)
(H16・12月末)



町民367人に1人

町職員
(H18・4・1現在)



213人

町議会議員
(H18・12月1日現在)



16人

町民2,100人に1人





その笑顔を、
世界に広げたい。
未来につなげたい。

IMAGINE

— 未来創造 —

人が輝くと、町が輝く。町が輝くと、
人が輝く。人と町がひとつになって、
夢と希望に溢れた未来を創っていく…。
ひとりひとりがヒーローです。

Sending these smiles to the world, connecting
with the future, we are building our future.

When people sparkle our town glitters, and vice-versa. With
people and town becoming one, we work together at realizing
our dreams and hopes thus all becoming heroes.



2007 南風原町勢要覧

2007 南風原町勢要覧

発行：2003年 9月 改定：2007年 3月

編集：南風原町役場企画財政課

発行所：南風原町役場

〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地

☎ (098) 889-0187

<http://www.town.haebaru.okinawa.jp/>

印刷：有限会社サン印刷

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地

☎ (098) 889-3679 (代)